

4 団塊世代の地域デビュー

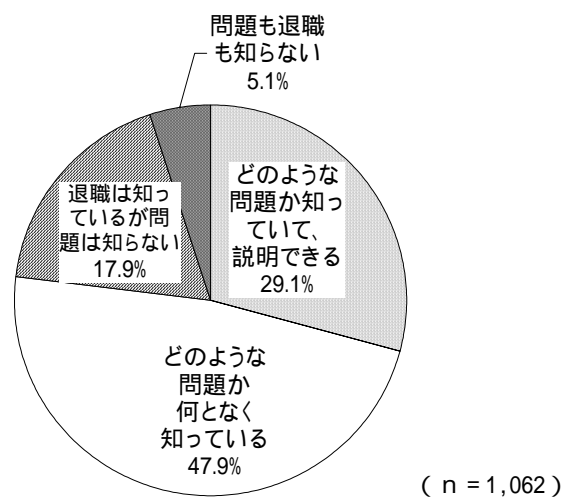
(1) 「団塊世代の大量退職問題」の認知度

「どのような問題か知っていて、説明できる」はほぼ3割

「団塊世代」とは、1947～1949年（昭和22～24年）の3年間に生まれた、現在57～60歳くらいの世代を指し、厚生労働省の統計では約800万人（出生数）です。

問23 「2007年～2009年にかけて、団塊世代が60歳定年を迎え、大量退職する問題」をご存知ですか。（は1つ）

図4 - 1 - 1 「団塊世代の大量退職問題」の認知度

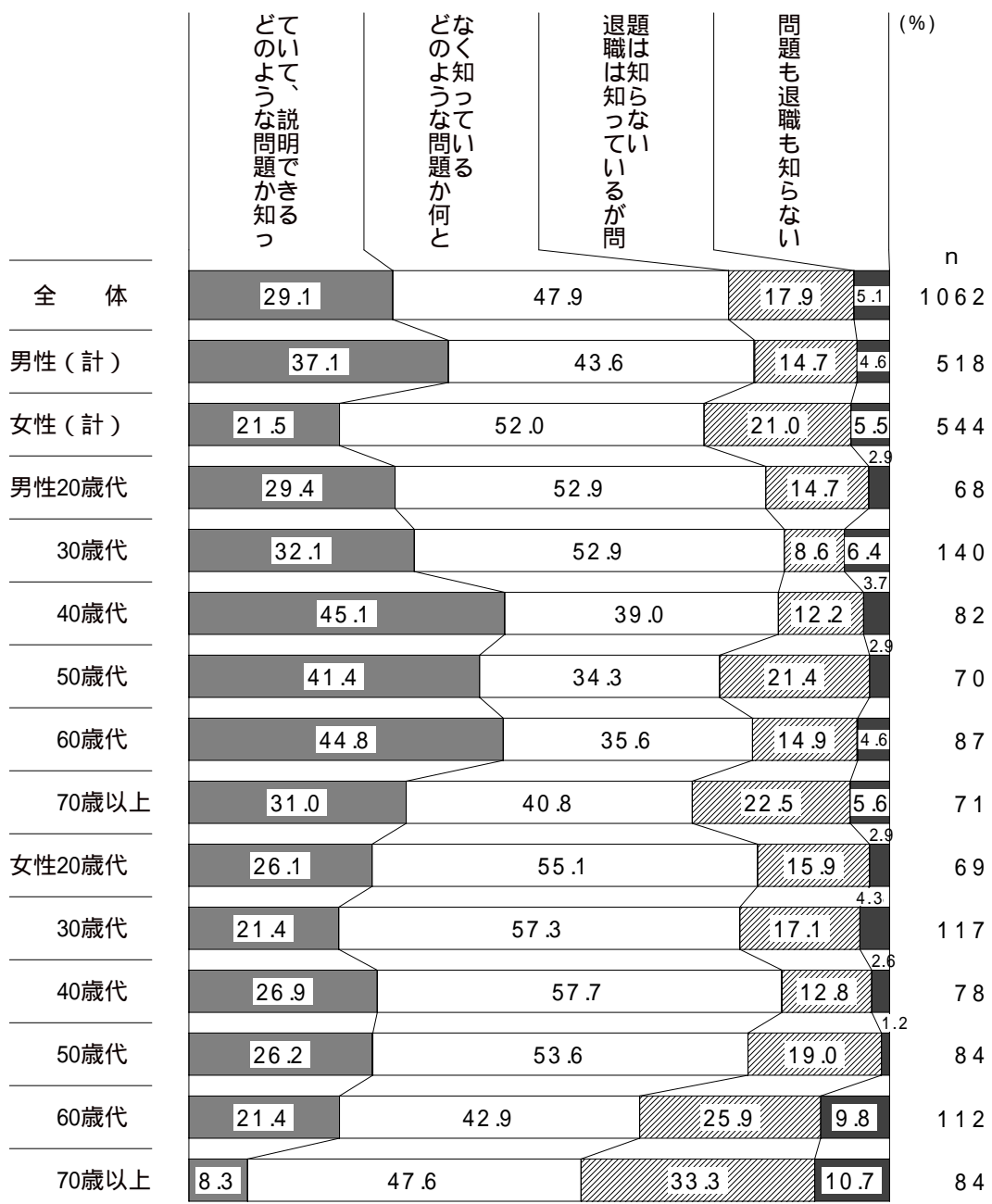


団塊世代の大量退職問題について知っているか聞いたところ、「どのような問題か知っていて、説明できる」(29.1%)はほぼ3割になっている。「どのような問題か何となく知っている」(47.9%)は5割近く、「退職は知っているが問題は知らない」(17.9%)は2割近くで、「問題も退職も知らない」(5.1%)は1割に満たない。(図4 - 1 - 1)

性別にみると、「どのような問題か知っていて、説明できる」は男性の方が16ポイント高くなっている。「退職は知っているが問題は知らない」は女性の方が6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「どのような問題か知っていて、説明できる」は男性の40歳代から60歳代の年代で4割を超えて多くなっている。「退職は知っているが問題は知らない」は女性70歳以上で3割を超え、女性60歳代でも2割半ばと多くなっている。(図4-1-2)

図4-1-2 「団塊世代の大量退職問題」の認知度 - 性・年齢別

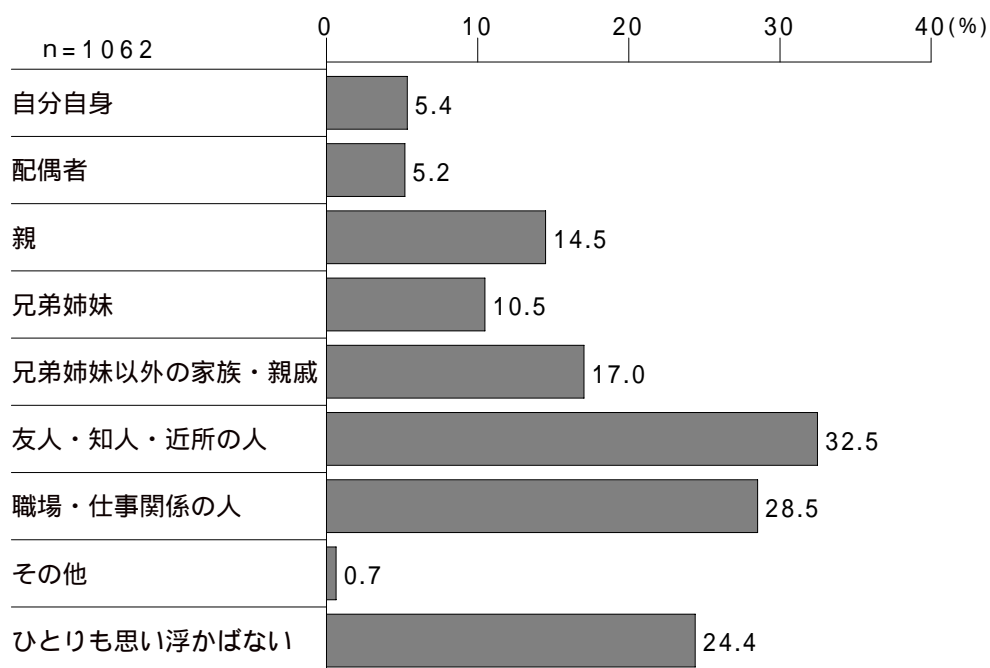


(2) 身近な団塊世代

「自分自身」「配偶者」は5%、「親」は1割半ば、「兄弟姉妹」は1割

問24 あなたのお知り合いに団塊世代の方はいらっしゃいますか。思い浮かぶ方すべてにつけてください。(ご自身も含まれます。)

図4-2-1 身近な団塊世代



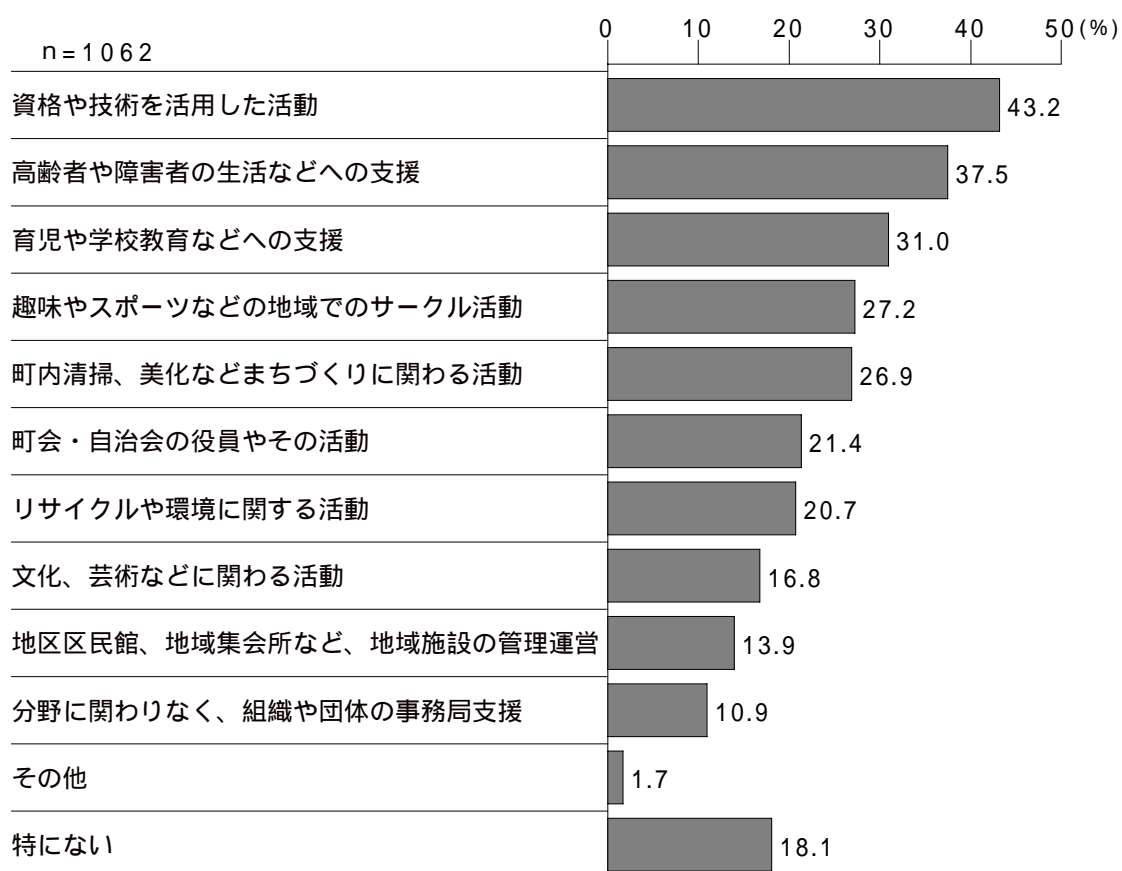
知り合いの方にどのような団塊世代の方がいるか聞いたところ、「自分自身」(5.4%)、「配偶者」(5.2%)はともに5%で、「親」(14.5%)は1割半ば、「兄弟姉妹」(10.5%)は1割、「兄弟姉妹以外の家族・親戚」(17.0%)は2割近くになっている。「友人・知人・近所の人」(32.5%)は3割を超え、「職場・仕事関係の人」(28.5%)は3割近くである。(図4-2-1)

(3) 団塊世代の地域貢献として期待すること

「資格や技術を活用した活動」が4割を超える

問 25 2007年～2009年にかけて大量退職する団塊世代の方々には、今後、地域社会への関わりや、これからの高齢者の新しい生き方を創造することが期待されているといわれています。あなたが、団塊世代の方々に地域貢献として期待することは何ですか。(ご自身が団塊世代の方は、自分がこれからやってみたいこととしてお答えください。)

図 4 - 3 - 1 団塊世代の地域貢献として期待すること

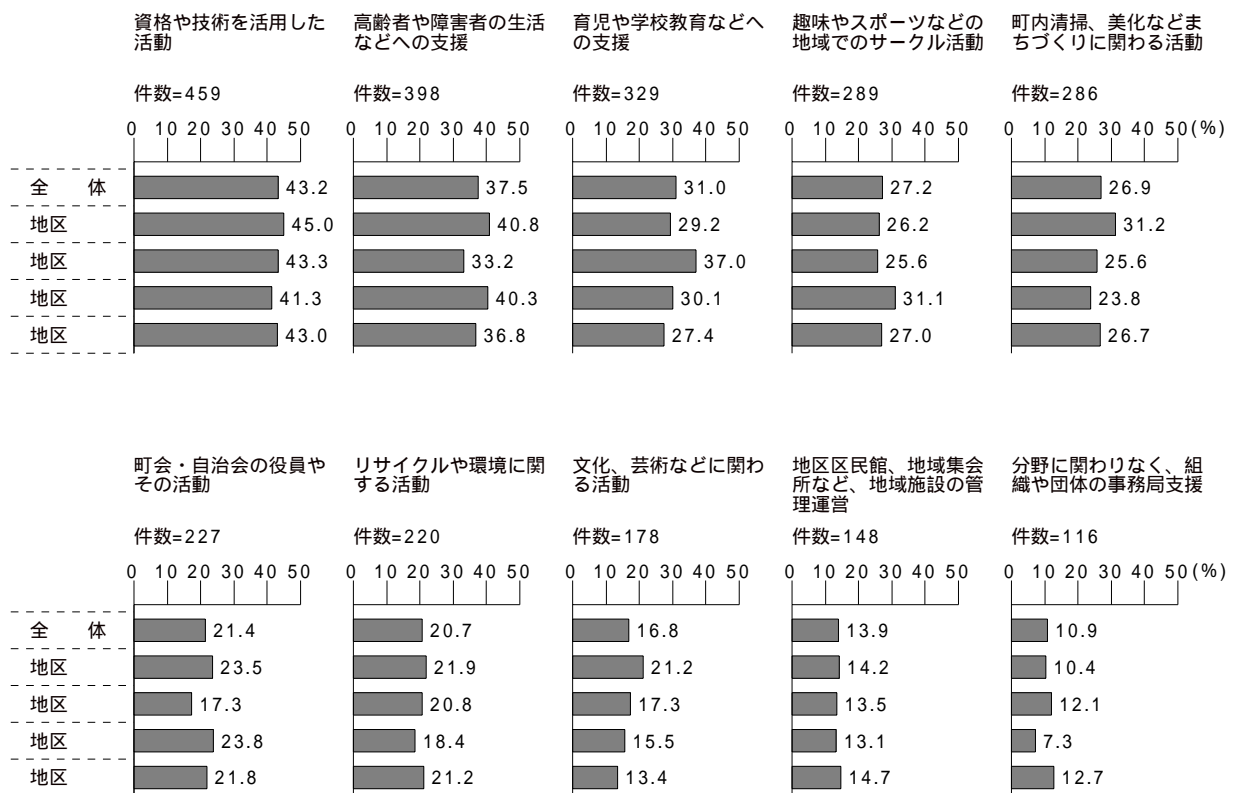


団塊世代の方々に地域貢献として期待することは何か聞いたところ、「資格や技術を活用した活動」(43.2%)が4割を超えて最も多く、次いで「高齢者や障害者の生活などへの支援」(37.5%)、「育児や学校教育などへの支援」(31.0%)、「趣味やスポーツなどの地域でのサークル活動」(27.2%)、「町内清掃、美化などまちづくりに関わる活動」(26.9%)などの順となっている。

(図 4 - 3 - 1)

地区別にみると、「育児や学校教育などへの支援」が 地区で4割近くと多くなっているほかは、各地区間で大きな傾向の違いはみられない。(図4-3-2)

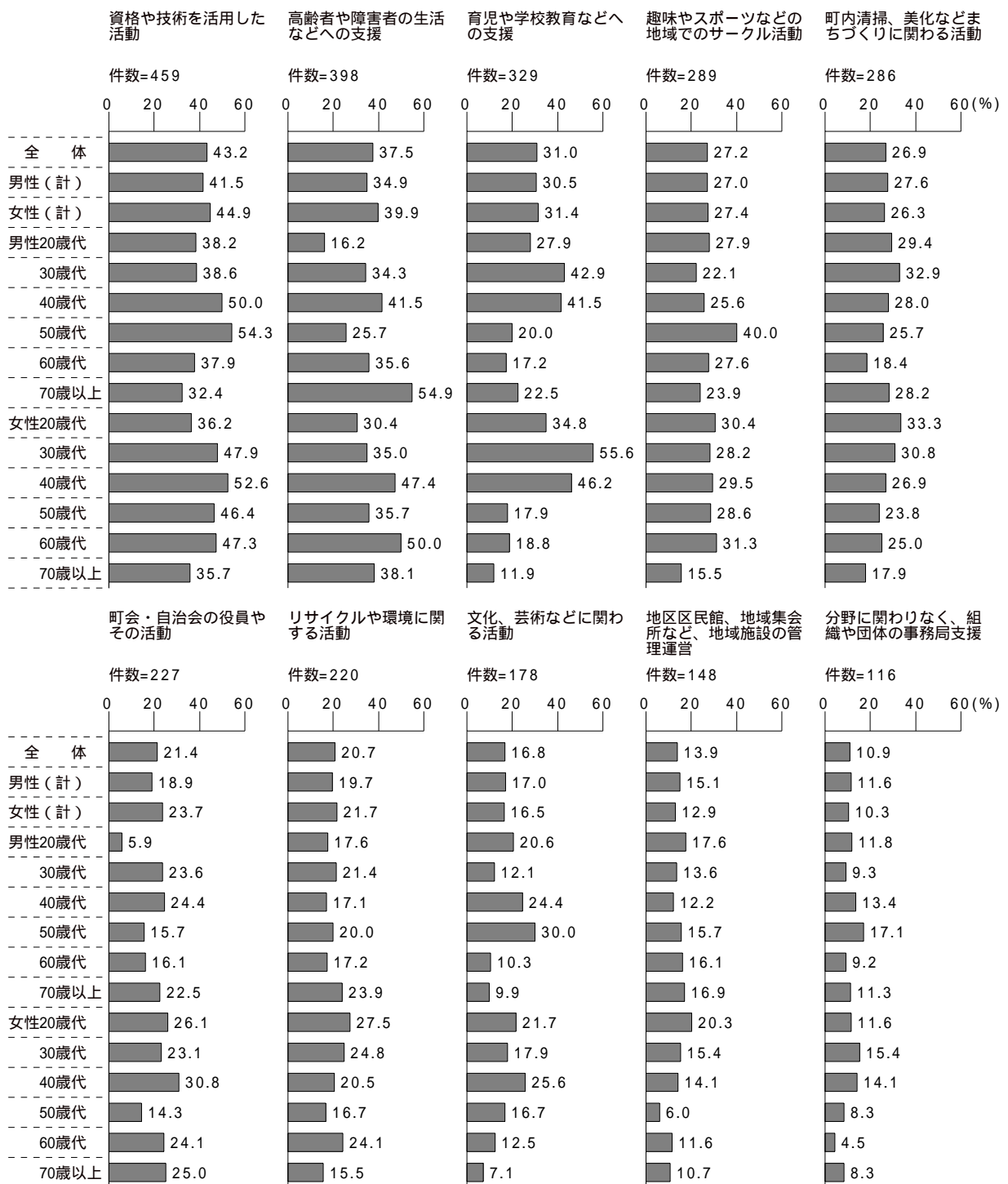
図4-3-2 団塊世代の地域貢献として期待すること - 地区別



性別にみると、女性の方が「高齢者や障害者の生活などへの支援」と「町会・自治会の役員やその活動」でともに5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「高齢者や障害者の生活などへの支援」は男性70歳以上で5割半ば、女性60歳代でも5割と多くなっているが、男性50歳代では2割半ばになっている。「育児や学校教育などへの支援」は女性30歳代で5割半ば、女性40歳代でも4割半ばと多くなっているが、男女とも50歳代では2割前後にとどまっている。男性50歳代でみると、「資格や技術を活用した活動」の5割半ばに次いで、「趣味やスポーツなどの地域でのサークル活動」が4割、「文化、芸術などに関わる活動」が3割と多くなっている。(図4-3-3)

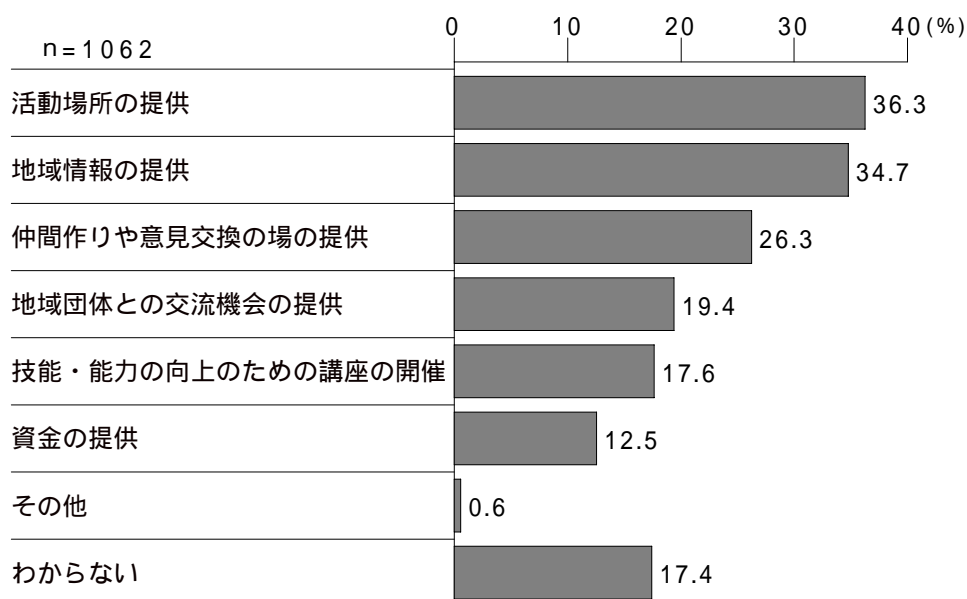
図4-3-3 団塊世代の地域貢献として期待すること - 性・年齢別



(4) 団塊世代の地域活動のために必要な支援
「活動場所の提供」と「地域情報の提供」が3割半ば

問 26 団塊世代の方が地域での活動をする際に、行政や民間の支援として必要と思われることは何ですか。(は2つまで)

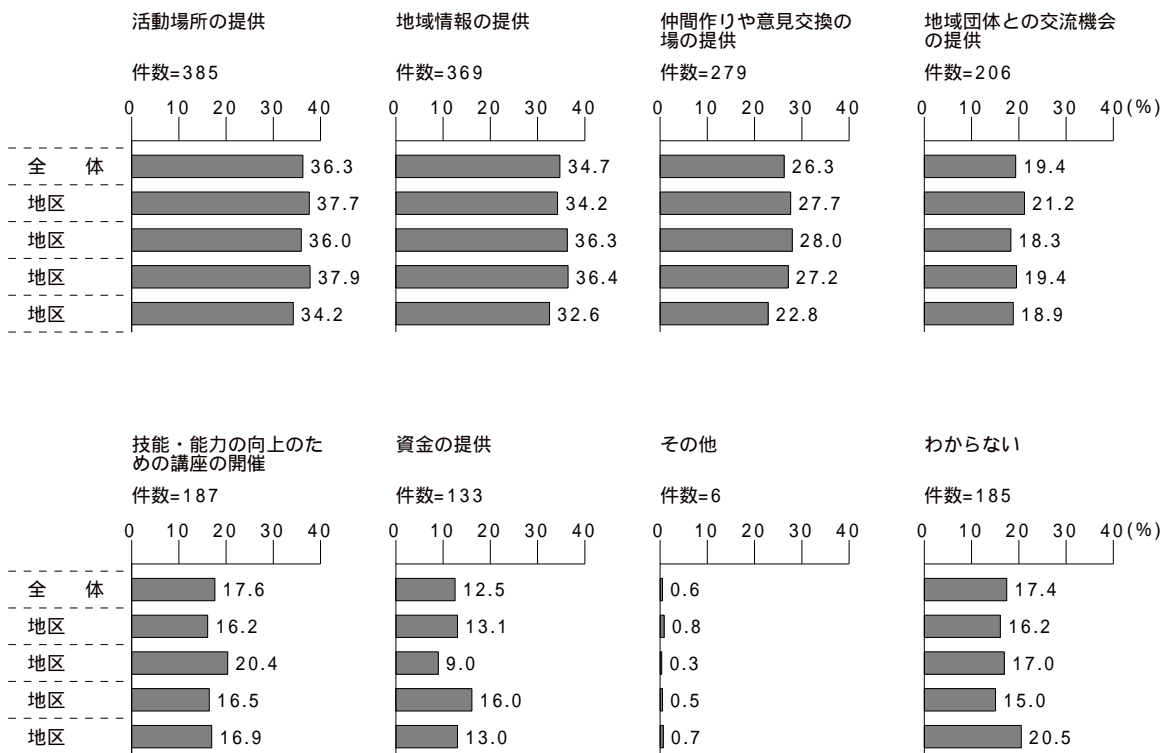
図 4 - 4 - 1 団塊世代の地域活動のために必要な支援



団塊世代の方が地域での活動をする際に、行政や民間の支援として必要だと思うことは何か聞いたところ、「活動場所の提供」(36.3%)と「地域情報の提供」(34.7%)がともに3割半ばで多く、次いで「仲間作りや意見交換の場の提供」(26.3%)、「地域団体との交流機会の提供」(19.4%)、「技能・能力の向上のための講座の開催」(17.6%)などの順になっている。(図4-4-1)

地区別にみると、各地区間で大きな傾向の違いはみられない。(図4-4-2)

図4-4-2 団塊世代の地域活動のために必要な支援 - 地区別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年齢別にみると、「地域情報の提供」が男性60歳代で5割近く、女性50歳代でも4割半ばと多くなっている。「活動場所の提供」は女性30歳代で4割半ばと多くなっている。

(図4-4-3)

図4-4-3 団塊世代の地域活動のために必要な支援 - 性・年齢別

